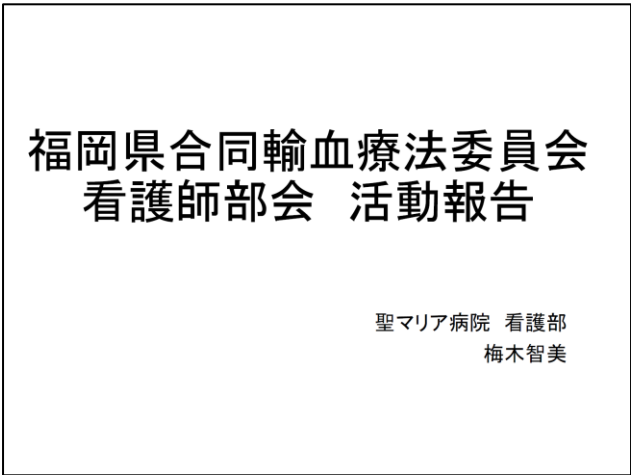


【座長：熊川先生】

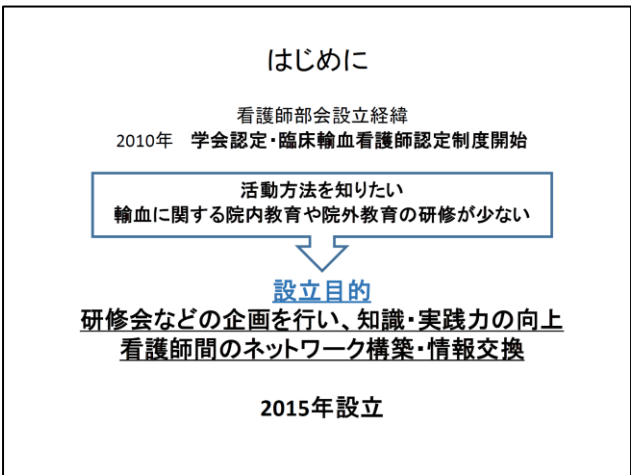
続きましては、福岡県合同輸血療法委員会の小～中規模施設での輸血医療の底上げということで、看護師さんの研修会、臨床検査技師の方への研修会というのを、先ほど申し上げましたように行っております。まず第2席は福岡県合同輸血療法委員会看護師部会の活動報告ということで、聖マリア病院の看護部の梅木智美先生、お願いいたします。

② 「福岡県合同輸血療法委員会看護師部会 活動報告」

**聖マリア病院 看護部
梅木 智美**



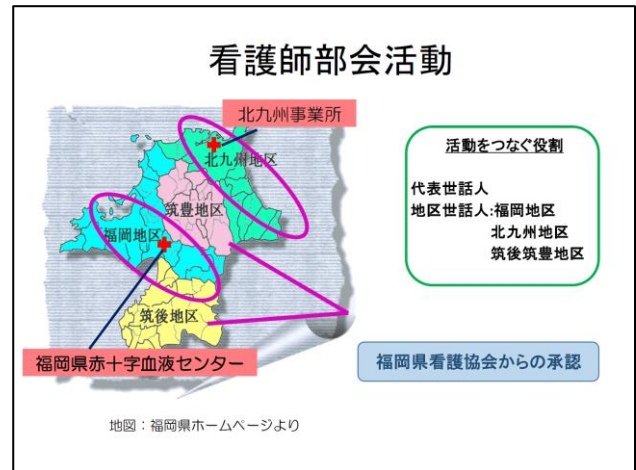
看護師部会を代表いたしました、聖マリア病院、梅木が発表させていただきます。



2010年から始まった学会認定臨床輸血看護師制度では、福岡県でも多くの看護師が認定を受けております。認定取得後は所属部署や院内での勉強会など教

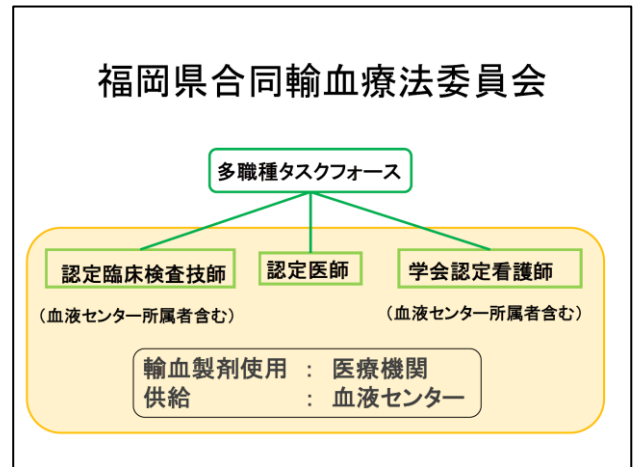
育活動を行っていましたが、施設や個人によって輸血に関連した教育受講の機会や活動の内容はさまざまでした。

そこで、研修会などの企画を行い、知識、実践力の向上、看護師間のネットワークの構築、輸血教育や活動の情報交換を行うことを目的とし、2015年福岡県合同輸血療法委員会看護師部会を設立いたしました。



看護師部会には、学会認定臨床輸血看護師、学会認定アフェーシスナース、学会認定自己血輸血看護師、以下、学会認定看護師と略しますが、この3つの学会認定看護師を含み、活動を行っています。

県内での活動を推進するため、代表世話人と県内3地区の担当者を選出し、活動を開始しました。また、この活動は福岡県看護協会からの承認も得ております。



当委員会では2015年に学会認定医師、臨床検査技師、看護師、事務局として輸血センタースタッフなどを含めた、多職種によるタスクフォースを結成しました。これまで福岡県赤十字血液センターが主催してきた中規模

医療施設の看護師を対象とした研修会を引き継ぎ、輸血実施体制への教育支援を行うことになりました。福岡県では医療機関と供給側の血液センターが共同して活動を行うことで、輸血検査や輸血実施にとどまらない輸血全体の教育活動を行うことができています。

これまでの活動内容	
2016年度	福岡県合同輸血療法委員会 中小規模医療施設の輸血実施体制への支援として 他職種タスクフォース（以下TFと略す）結成 第1回学会認定看護師ブラッシュアップセミナー開催
2017年度	福岡県合同輸血療法委員会 輸血研修会実施（県内2地区に分け実施） 第2回学会認定看護師ブラッシュアップセミナー開催
2018年度	福岡県合同輸血療法委員会 輸血研修会実施（県内2地区に分け実施）
2019年度	福岡県合同輸血療法委員会 輸血研修会実施（県内2地区に分け実施） 第3回学会認定看護師ブラッシュアップセミナー開催
現在、〈看護師部会〉として名称変更 定例会：毎年8月実施	

これまでの活動内容です。ここではタスクフォースメンバーが講師という構成で行われた学会認定看護師ブラッシュアップセミナーと、中小規模医療施設を対象とした輸血研修会について紹介いたします。

学会認定看護師ブラッシュアップセミナー

対象者：学会認定看護師

知識・技術 維持・更新	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県内輸血療法現状報告 ・ 血液製剤使用指針変更 等 	}	自施設への 活動へ繋げる
指導者育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学会認定看護師としての活動報告 ・ 活用資料作成と配布 		
情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設間、職種間の垣根を越えての 意見交換等 		

ブラッシュアップセミナーの受講対象は学会認定看護師です。県内の輸血療法の現状を聞くとともに、最新の輸血製剤使用指針の説明を学会認定看護師より講義を受け、知識、技術の維持、更新をいたします。また、学会認定看護師の実際の活動を聞き、所属施設での指導者としての活動へ結び付けます。さらに、他の施設の学会認定看護師や多職種との意見交換を通し、不安を共有し、活動の案を考える有意義な時間を確保します。

学会認定看護師ブラッシュアップセミナー

開催：土曜日 13:30～17:00
場所：福岡県赤十字血液センター
講師：学会認定看護師
TF 医師
検査技師
福岡県赤十字血液
センター学術課職員




開催は勤務に支障が少ない土曜日の午後とし、場所は福岡県赤十字センターをお借りし、行いました。講師を学会認定看護師を含むタスクフォースのメンバーに依頼し、講義や血液センター供給課の見学などが行われ、輸血に関し、医療現場と供給センターの一連の流れで捉えるようにしました。今年度は合計 35 名の参加者がおりました。


学会認定看護師ブラッシュアップセミナー アンケート（自由記載）

〈今後取り上げて欲しい内容や知りたい情報について〉

他施設の取り組み

- ・ 学会認定看護師の活動及び院内周知
- ・ インシデント対策と発生事例への対応
- ・ 新人教育のポイント
- ・ 職員の教育体制

Q&Aによる疑問解決



今後取り上げてほしい内容を聞いたアンケートでは、他の施設での取り組みや新人教育のポイントなど、今後の活動の案やインシデントの対策などの意見が出ました。今年度のブラッシュアップセミナーでは、I & A の活動の内容を少し紹介したのですが、それに対し「やりがいを感じる」ということと、「病院でのやり方、行い方を話すきっかけとなるのではないか」と答えたアンケートの結果がありました。今後も参加者の意見を吸い上げ、各施設の活動へと結び付ける内容としたいと考えております。


福岡県合同輸血療法委員会 看護師輸血研修会

対象者：県内中小規模医療施設の看護師

知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> 輸血に関する知識を得る 輸血セット、自己血採血時の実際（実技研修） 	自施設への 安全へ 繋げる
情報交換	<ul style="list-style-type: none"> 施設間、職種間の垣根を越えての意見交換等 不安の解消 	

次に看護師研修会です。対象は県内中規模医療施設の看護師です。この研修では安全な輸血医療を推進するため、輸血に関する基礎的知識や技術を習得するとともに、他の施設の看護師との交流や、講師を務めるタスクフォースとの情報交換を行い、他施設での安全活動へと情報をつなげることを教育の目的といたしました。

福岡県合同輸血療法委員会 看護師輸血研修会



開催：土曜日 13:30～17:00
場所：福岡県赤十字血液センター
福岡県赤十字血液センター北九州事業所
*県内2地区に分け開催

講師：地区の認定看護師
TF 医師
検査技師
福岡県赤十字血液センター学術課職員

開催はブラッシュアップセミナーと同様、勤務に支障が少ない土曜の午後としました。参加する医療施設の数や距離を考慮して、県内2カ所で、2回に分け開催いたしました。講師もその地区の輸血看護師およびタスクフォースとし、地元での顔の見える関係となるよう設定いたしました。今年度は合計258名の参加者がありました。

福岡県合同輸血療法委員会看護師研修会 実技研修風景



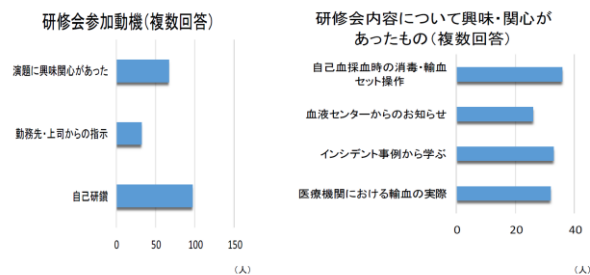
自己血採血時の
穿刺部位の清拭と消毒
実際に行ってみました！

輸血バックを实际触れてみたり、
輸血セット接続など行いました。
安全な手技の確認を学びました。



これは実技研修の写真です。モデルへの穿刺実施や、その順番待ちの間は講師への質問時間としたり、和やかな時間となりました。

福岡県合同輸血療法委員会 看護師研修会 参加アンケート



参加アンケートを見てみると、参加の動機は「自己研鑽」としての理由が最も多く、受講への関心の高さが伺えます。参加内容も最も興味関心があったものは「自己血採血時の消毒」「輸血セット操作」や「インシデント事例から学ぶ」というものでした。

研修終了後のアンケートでは「基礎からの学習ができた」との感想を受けました。疑問点の解決を含め、自己研鑽としての研修会の意義も達成できたのではないかと考えております。

福岡県合同輸血療法委員会看護師研修会 アンケート(自由記載)

感想

- ・これまでは、見よう見まねだったが、基礎から学べた
- ・疑問点を質問できて良かった
- ・実技研修の時に、自由に質問ができてスッキリした
- ・雰囲気がよく、楽しく学べた

要望

- ・インシデント事例などの話を詳しく聞きたかった

今回のアンケートには不満に該当するものは書かれていなかったのですが、やはり「インシデント事例を聞きたい」という要望がありました。ただし、輸血としての学びだけではなく、突発事例に関する情報を得たいという考えは、現場看護師ならではの視点ではないかと思っております。今後、研修会でもそのような内容を入れて行っていきたいと思っております。

今後の課題

福岡県全体のネットワークの構築

- 学会認定看護師間
- 福岡県中小医療施設看護師間
- 他の職種間

学会認定看護師の支援と人材育成

- 企画・実践でのリーダーシップの発揮
- 学会認定看護師の更新・後継者へ繋がる



太宰府市ホームページより

今後の課題です。これまで、学会認定輸血看護師の間でのネットワークの構築を中心に行ってまいりました。しかし、県内の中小規模施設の輸血医療の支援を行っている中で、他の職種を交えた活動の活発化ということをもっとやっていくべきではないかということで、ネットワークの拡大を行うことが必要であると考えております。

そして2つ目は、世話人を中心とした看護師部会での県内の学会認定看護師の活動を支援するための教育活動をさらに継続して行い、安全な輸血医療を定着していくことが大切な課題であると考えております。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

【座長：熊川先生】

梅木先生、ありがとうございました。今のご発表につきまして、どなたかフロアからご質問、コメント等はいかがでしょうか。

今年も看護師さんへの各中小施設への研修会は合計4回ですね。非常に多くの方がご参加いただきまして、また今後も続けていただきたいなと思っているところです。それで書かれてありますように、その講師になられる看護師さん、基本的には学会認定の資格を持った看護師さんをお願いしておりますが、やはり活動が続いていくためには、どなたか特定の人に負担がかかるのはなかなか続かないということで、認定を取られている方がどんどん増えていかれていますので、世話人の方が調整されて、今までされていない方に講師になっていただくというようにしております。

その時に、県の合同輸血療法委員会としましても、多くの方にご出席、ご参加も講師として協力していただきたい。そういう方には、やはり何某かのお礼をということで、日本輸血・細胞治療学会の学会認定の更新に必要な、多分5単位だった思うんですけども、複数回講義されても1年に5単位なんですけど、日本輸血・細胞治療学会の支部会長を通じて、単位を付与できるような対応をしております。今後も認定を取られた方が、毎年新たに講師として参加していただいて、活発になるようにということを合同輸血療法委員会としても実際しているところです。

それプラス、何か梅木さんからさらに追加でコメントはありますか。

【演者：梅木先生】

今、私が勤めている病院は、筑後地区でも大きな病院なんですけど、実際に中小規模病院の看護師と触れ合う中で、やはり自分の病院が恵まれているということを考えるところではあります。その分、もっともっと地区に密着した活動を行いたいなと思っております。

実際にまだこの会を、勉強会をしますよと言って、来ていただいたりはしているんですけど、私たちが勉強会の資料を作って、そして施設に持って帰っていただいて、そこで教育活動が行えたらなと思っております。スターターキットのような、中小規模病院で開いて、そして教育活動ができ

るところまで活動を大きくしていきたいなと思っておりますので、まだまだ頑張っていこうと思っております。

【座長：熊川先生】

活動を期待しております。ご発表ありがとうございました。